

# すまいるたうん



発行元  
東京新聞  
南千住専売店  
TEL3803-1781  
発行責任者  
鬼塚 佳代子  
TEL090-2657-0300

個性を育む安心の居場所  
荒川区立荒川生活実習所  
荒川区立荒川福祉作業所



「一人ひとりを大切に」

荒川区立荒川生活実習所、荒川区立荒川福祉作業所は、同一建物の1階と2階にあります。

「ご利用者一人ひとりにあった将来を見据えた支援をしています」

荒川生活実習所は、18歳以上の知的障がいや身体障がいのある方が介護や情緒面等の生活介護を受けるデイサー

ビスのような場所です。福祉作業所よりも障がいの重い方が利用されています。利用者の方たちは、年齢や障がいの種類や程度、環境やコミュニケーション能力など、一人ひとりの個性があります。個性に配慮して「すみれ」「あかね」「わかくさ」「りきゆう」「こはく」とグループ分けした部屋でその方が安心して過ごせるようにしています。運動や地域と繋がった活動等、40種類以上あるプログラムの中からそれぞれの方の個性に適したプログラムを提供しています。

例えば、車イスで通所される方には、体調を観ながら機能訓練を行い、褥瘡に注意を払ってベッドに休んで頂いています。また、自閉症の方たちには、2波の音楽や光など視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚の五感を刺激するスヌーズレン療法でリラックスして穏やかな時



あらっばいくん  
(荒川生活実習所・福祉作業所キャラクター)

を過ごして頂いています。

「働くことを通じて、利用者の力が引き出され、働く喜びを感じられる」

荒川福祉作業所は、就労継続支援B型と就労移行支援を行っています。

就労継続支援B型とは、障がいや年齢、体力などの理由から、企業などと雇用契約を結んで働くことが困難な人を対象とした障害福祉サービスのひとつです。生産活動（仕事）を通して就労の機会を得て、働くスキルを維持向上することができます。

ほか、日中に安心して過ごすための居場所という役割もあります。障がいの状態や体調に合わせて自分のペースで働くことができます。就労移行支援とは一般企業で働くためのトレーニングやサポート等の就労訓練を受け、一般企業への就職を目指します。



ほっくん・どっくん  
(荒川福祉作業所キャラクター)

「ひとり一人に合わせた個別支援計画」

荒川福祉作業所では金具の組立て、鉛筆の袋入れ、書類の丁合等の仕事を区内の事業者から請け負ったり、自主生産品の販売しています。スタッフは、その方の個性に合わせて金具を並べ易いように番号を振ったマス目を作ったり、個性を生かした自主生産品を作製しています。細かな配慮のもと、皆さんはスムーズに仕事に取り組まれています。デイサービスと併用して通って来る80代の方、仕事があり仲間がいることは幸せと思いました。



ひとり一人見守るスタッフさんたちの細かな気遣いで荒川生活実習所、荒川福祉作業所が、安心の居場所になっているからでしょう。

皆さん、素敵なお顔です。栄養士が立てた献立による栄養満点の昼食は楽しみの時間です。どちらも運動会や行事やイベントが盛り沢山です。

荒川生活実習所、荒川福祉作業所ではボランティアさんを募集しています。ここでの出会いは優しさとの出会いです。どうぞ、お気軽にご連絡ください。

(アラカワマルシェ)

日時 令和5年12月9日(土) 10時~15時

場所 La Laテラス南千住 センターコート  
荒川区内の障がい者施設で手作りしたパンやお菓子、アクセサリーや雑貨を販売します。お問い合わせは左記へ。

## 【荒川区立荒川生活実習所】

TEL 3891-6915 FAX 3891-6826

E-mail arasei@arakawa-shakyo.or.jp

## 【荒川区立荒川福祉作業所】

TEL 3807-3442 FAX 3891-6826

E-mail fukusaku@arakawa-shakyo.or.jp

〒116-0002 荒川区荒川1-53-9

(都電荒川区役所前 徒歩5分)

開所日：月～金

休業日：土日・祝日、年末年始

